

【団長挨拶】

本日は「港北区民交響楽団室内楽コンサートVol.4」において下さり誠にありがとうございます。当団は一年に3回のオーケストラでの演奏会を開催しておりますがこの室内楽演奏会は夏冬と年に2回この大倉山記念館で開催させて頂いております。この演奏会の目的は団員のアンサンブル向上や団員間の一体感の促進等様々挙げられますが何と言っても地元のお客様に生(ナマ)で室内楽を聴いて頂こう楽しんで頂こうというものでございます。今回も古典から近代まで様々な曲が並びました。どうぞ最後までごゆっくりお過ごしください

港北区民響楽団 団長 富山辰夫

【プログラム内容】

■ トロンボーン三重奏

＜＜メンバー紹介＞＞

港北区民響のトロンボーンパート+1のアンサンブルです。今回は1名長期出張中につき、トリオでの参加です。

市川英史・小池晴夫・若林 渚 (Trb)

＜＜曲目紹介＞＞

賛美歌／神の御子は今宵しも O Come, All Ye Faithful: Hymn tune

ブルックナー／エクアーレ (Aequale für 3 Posaunen)

第一番 c-Moll Lento (WAB 114), 第二番 c-Moll Grave (WAB 149)

いわゆる「大作曲家」で、トロンボーンのための曲を残してくれたのは、ベートーベンとブルックナーだけ。いずれもエクアーレという典礼(葬儀)のための小曲でした。ブルックナーが23歳頃の作品です。

ウーバー／「3つのコラール」より第1曲、第3曲 from “Three Chorales” I, III :
ウーバーは、アメリカの作曲家で、自身もトロンボーン奏者であるためか、トロンボーンのために、雰囲気のあるアンサンブルを残してくれました。コラールといいながら、特に宗教的な意図はないようですが、なんとなく、この季節に演奏したくなる曲です。

■ ボロディン 弦楽四重奏曲第2番 二長調

＜＜メンバー紹介＞＞

田中真紀子 (1stVn)、渡部智子 (2ndVn)、堀井正明 (Vla)、富山辰夫 (Vc)

＜＜曲目紹介＞＞

自らを「日曜作曲家」と称したボロディンは19世紀、ロシア国民楽派の作曲家です。彼の本業は、偉大な化学者で「ボロディン反応」という化学用語を世に残しました。生涯に残された音楽作品は必ずしも多くはありませんが、この弦楽四重奏曲は彼の代表作です。特に、3楽章は単独で演奏されることも多く、ノクターン《夜想曲》として親しまれています。

第1曲 アレグロ・モデラート

第2曲 アレグロ (スケルツォ)

第3曲 アンダンテ (ノクターン《夜想曲》)

第4曲 アンダンテ ヴィヴァーチェ

■ モーツァルト：オーボエ四重奏曲 ヘ長調 K370

＜＜メンバー紹介＞＞

室内楽も大好きなメンバーの集まりです。

水橋恵津子 (Ob)、笹原伸雄 (Vn)、瀬戸満寿美 (Vla)、河本計三 (Vc)

＜＜曲目紹介＞＞

この曲は、モーツァルトの友人のオーボエ名手に書いた曲です。

第一楽章 アレグロ4分の4拍子。明るい、晴れやかといったイメージがぴったりのソナタ形式の楽章です。

第二楽章 アダージョ4分の3拍子。第一楽章とは一転して切なさが伝わってくる楽章です。

第三楽章 ロンド・アレグロ、8分の6拍。明るくさわやかな印象の楽章です。協奏曲とも思えるほどオーボエの技の見せ所満載で、オーボエのみ4分の4拍子で書かれている部分もあります。

■ サン・サーンス：タランテラ イ短調 Op6

＜＜メンバー紹介＞＞

以前から熱望していたこの曲、都内アマオケで活躍中のドイツ管クラリネット奏者を客演に迎え演奏することが叶いました。当楽団で使用されているフレンチクラリネットとはひと味違う、深くまろやかで豊かな音色をお楽しみください。

大槻郷子 (Fl)、山本彬 (Cl)、Pf渡部智子 (Pf)

＜＜曲目紹介＞＞

「タランテラ」は3/8または6/8拍子のテンポの速い曲種のことです。タランチュラという毒蜘蛛にかまれると、その毒を抜くために踊り続けなければならない、というところから名付けられたといわれています。はじめに印象的な8音のテーマが提示され、これに乗ってフルートとクラリネットが弱音でメロディーを奏で始めます。両者は絡み合ったり追っかけっこしたりしながら、やがてサン・サーンスらしいロマンティックなメロディーへと移り、最後はテーマが13回繰り返され不吉な予感を漂わせながらタランテラの題名どおりテンポが急調となり、ドラマティックに締めくくられます。

■ベートーベン：弦楽三重奏のためのセレナーデ 二長調 作品8

＜＜メンバー紹介＞＞

私たち3人は、何年か前から室内楽をそれぞれに、あるいは一緒に演奏しています。今回、この3人組の大倉山登場は2回目です。

滝口 修 (Vn)、阪田貞一 (Vla)、田村 邦夫 (Vc)

＜＜曲目紹介＞＞

八つの楽章の作品。うち、七つを演奏します。いつも生きる勇気を与えてくれるベートーベン。その26歳の時の作品。ボンからウィーンに移って4年、情熱と憧れに満ちた時期のものです。ボンにいたころ、宮廷劇場でピアノを弾いていましたが、国境の向こうに革命の炎が燃え盛り、火の粉が降りかかりそうなこともあって、音楽の都に移り、大作曲家を目指します。

■モーツァルト：クラリネット五重奏曲 イ長調 K581

＜＜メンバー紹介＞＞

佐藤紀子 (Cl)、安斉佳秀、笹原伸雄 (Vn)、砂田俊彦 (Vla)、富山辰夫 (Vc)

＜＜曲目紹介＞＞

モーツァルトが亡くなる2年前 1789 年秋に作曲した室内楽曲です。友人のアントン・シュタートラーの為に作曲されモーツァルトの五重奏曲の中でも特に有名な曲とされています。この曲は本来は当時シュタートラーが用いていたバセットクラリネット用に作曲されたもので現在の版は 1802 年にクラリネット用に編曲されたものです。

第1楽章 アレグロ イ長調

第2楽章 ラルゲット 二長調

第3楽章 メヌエット イ長調 (トリオⅠはイ短調)

第4楽章 アレグレット イ長調

港北区民交響楽団 室内楽コンサート Vol.4



～ プログラム ～

トロンボーン三重奏

ボロディン：弦楽四重奏曲 第2番 二長調

モーツァルト：オーボエ四重奏曲 へ長調 K370

サン・サーンズ：タランテラ

ベートーベン：弦楽三重奏のためのセレナーデ 二長調 作品8

モーツァルト：クラリネット五重奏曲 イ長調 K581

2012 年 12 月 2 日 (日) 14:00 開演

於 横浜市大倉山記念館 ホール

主催：港北区民交響楽団

横浜市大倉山記念館

港北区民交響楽団 今後の公演のご案内

第 51 回定期演奏会 2013 年 1 月 20 日 (日) 神奈川県民ホール

三原明人指揮 ブラームス交響曲第4番 他